

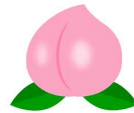
《観察記録文》 もも

アクトン 日三

六月二十五日 火曜日

もものかんきつをしました。

形はまるくて、おしりみたいです。六センチぐらいで、ぼくの手のひらの大きいです。色はピンクと黄色で、おいしそうです。グミのにおいがありました。さわったら、ふわふわでつめたかったです。たべたら、ジューシーであまくてハッピーになりました。



【評】「観察名人になろう」で学んだ、観察に大切なことをきちんと押さえ、詳しく、読む人にも分かりやすい記録文が書きました。食べた後、ハッピーになるということで、桃のおいしさがよく分かりますね。

《生活文》 すてきなパリ旅行

アクトン 小三

五月二十七日・くもり

わたしは、ハーフトームの間にユーロスターにのって、パリへ行きました。ごうけいで六日間とまりました。

はじめてエッフェルとうを見たしゅん間、びっくりしました。なぜかという、母とけいたい電話で見たしゅんよりもだんぜん大きかったからです。

次の日に、わたしはラデュレという有名なおかしやさんで高級なマカロンを食べました。

食べたしゅん間に上のぶ分がかりつとなって、中みの

さわやかであまいクリームが口中に広がりました。ほっぺが落ちそうになったので思わず、

「おいしい！」

と心の中でさげびました。それから、クリームとミニマカロン、チョコレートとナッツののったホットチョコレートのみました。

一ばんうれしかったことは、アキというようがしやさんがあったことです。

わたしの母はまっ茶とふつうのクリームブリュレを、わたしはまっ茶とふつうのクリームとラズベリーののったマロンパンを食べました。

今回の旅は食べ物がおいしい国だったのでよかったです。思います。

【評】「マカロン」を食べ始めたときや食べているときの様子や気持ちがよく伝わってきます。何よりも自分と同じ名前のお店があったことに驚かされましたね。



《生活文》 校長先生とべんきょうしたと

アクトン 日五

さいしよに、校長先生が、シンガポールにすんでいた時のお話をみんなに聞かせてくれました。シンガポールには、おへやの中にも、へびがたくさんいるそうです。ある日、学校で戸だなを開けると中に大きなへびがいたので、おどろいてあわてて閉めました。時どき、へびがまどぎわをはっていることもあったそうです。学校にへびがいるなんて、とてもおどろいて、少しこわいと思いました。

つぎに、校長先生が、イラストを見せながら、カメのお話してくれました。二人の男の子が、カメをぼうでたたいていじめていました。イラストには、それを見ている男の人がいて、ふきだしがついていました。校長先生は、みんなに、

「男の人が、何と言っているか、考えて書いてみましょう。」

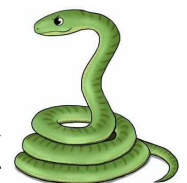
と言いました。わたしは、

「やめなさい。カメはなにもわるいことをしていないよ。」

と書きました。それから、またべつのイラストを見て、みんなで、ふきだしを考えました。

いつもどちがうやり方でべんきょうできて、とてもきょうみぶかかったです。

【評】この文を読むだけで、校長先生と勉強したときの様子を見たことのように思い浮かべることができました。はじめの段落の人から聞いたことの書き表し方がとても上手です。



《日記》 発見

クロイドン 小三

学校に行く道で、へんな木を発見しました。高い大きい木のえだに、みどり色の大きなポンポンが三つありました。

家に帰って、お母さんといっしよに調べました。すると、それは、その大きな木とはべつのしよく物で、名前は「ヤドリギ」というものでした。えい語で「ミスルトウ」と言います。「ヤドリギ」は、他の木やえだにねをきしこんで、水やえいようを横どりするきせいしよく物です。

イギリスでは、りんご、ライム、やなぎの木などによくよります。また、ヨーロッパでは、クリスマスにえだをつるして、その下にいる人はキスをする風習があります。

〇〇〇〇がこれを知った後、すぐくふしぎな気持ちになりました。

【評】段落をつけて文章が書けていたのでとても分かりやすく、言いたいことが伝わってきます。

